

8月の市場の動き

- 豪ドル/円は、与党の自由党内で首相に退陣を迫る動きが加速したことから、政局不透明感が高まり下落。オーストラリアの第2四半期の実質GDP(国内総生産)成長率はほぼ6年ぶりの高水準と景気は堅調だが、賃金の伸びとインフレ率が低水準にとどまっており、RBA(オーストラリア準備銀行)は利上げを急がず政策金利は据え置きとなった。

【8月のマーケットデータ】

	8月末	7月末	騰落率	最低	最高
豪ドル/円(円)	80.59	82.21	▲1.97%	80.03	83.02
10年国債利回り	2.519%	2.647%	▲0.128	2.519%	2.729%
株価指数(S&P/ASX200指数)	6,319.50	6,280.20	0.63%	6,234.78	6,352.24

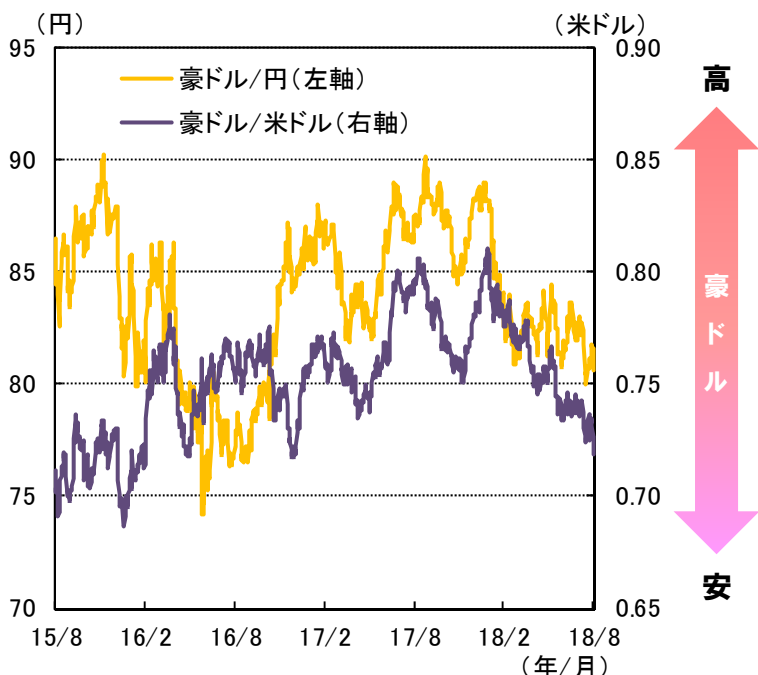
※豪ドル/円は本邦営業日ベース、為替の騰落率はプラスは円安、マイナス(▲)は円高、債券騰落率は利回りの変化幅

各市場の推移

為替市場

(2015年8月末～2018年8月末、日次)

オーストラリアの政局不透明感などを嫌気して円高・豪ドル安に

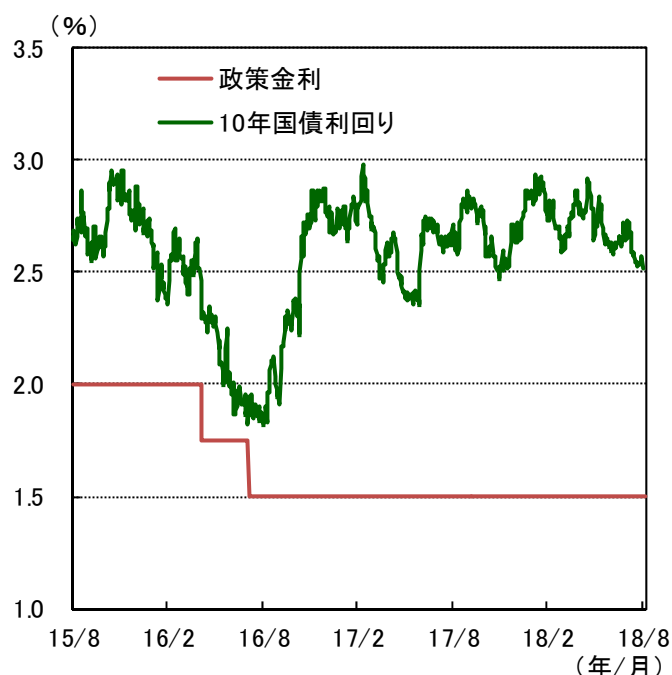


政策金利・債券市場

(政策金利: 2015年8月末～2018年9月5日、日次)

(10年国債利回り: 2015年8月末～2018年8月末、日次)

欧米金利低下の影響を受けて10年国債利回りは低下

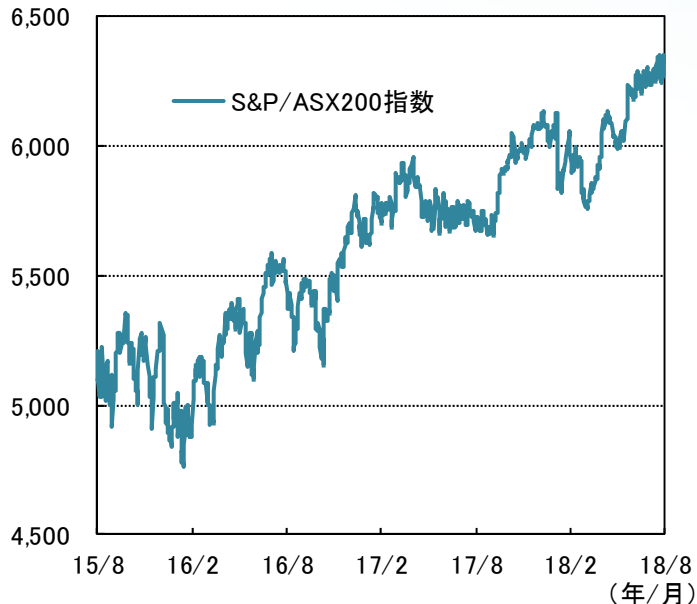


(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

株式市場

(2015年8月末～2018年8月末、日次)

金利低下などを好んで株式市場は堅調



ご参考：商品市場

(2015年8月末～2018年8月末、日次)

中国景気の減速懸念などを背景に鉄鉱石価格は軟調に推移



今後の見通し(為替・債券)

豪ドル/円は、オーストラリアのインフレ圧力が鈍いことから先行きの利上げ観測が高まりにくいものの、底堅い景気などが下支えとなり、もみ合い推移が予想されます。

豪10年国債利回りは、金融政策の中立スタンスを背景に、横ばい圏での推移を予想します。

【9月の予想レンジ】

豪ドル/円	76円－91円
10年国債利回り	2.1%－3.1%

主要経済指標・イベント

日付	経済指標・イベント	今回	前回
8/14	NAB企業景況感指数(7月)	12	14
8/15	消費者信頼感指数(8月)	103.6	106.1
8/16	失業率(7月)	5.3%	5.4%
8/30	住宅着工許可件数(7月)(前月比)	▲5.2%	+6.8%
8/30	民間設備投資(2018年4-6月期)(前期比)	▲2.5%	+1.2%
9/3	小売売上高(7月)(前月比)	+0.0%	+0.4%
9/4	RBA金融政策決定会合(政策金利)(9月)	+1.5%	+1.5%
9/5	実質GDP成長率(2018年4-6月期)(前年同期比)	+3.4%	+3.2%

※記載内容は資料作成時点のものであり、今後変更になる場合があります
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。